

第31回技術研究発表会 梗概 < I 論文 >

C (1) .都市の再興・まちづくり

【HP 掲載No.C05】

発表No.	C05
タイトル	公共交通の利用意向および ICT リテラシー水準とスマート技術に対する受容意向の関連性 ～埼玉県長瀬町を事例とした基礎的研究～
所属・名前	ものづくり大学大学院 田尻 要 新井 達也 中村 公亮 ものづくり大学 守家 和志 埼玉県立いずみ高等学校 木村 奏太 長瀬町 緑川 圭介
キーワード	①バス ② 安心・安全なまちづくり技術 ③ 地域再生
<p>公共交通をはじめとする移動手段は、ICT や自動運転といったスマート技術の開発が進んでいる。なかでも公共交通の需要密度が低く高齢化が進行している中山間地のような地域においては、スマート技術導入の期待は大きい。いっぽう、このような高齢化が進行している地域でスマート技術を適切かつ円滑に普及させるためには、利用者の ICT リテラシー水準や、運用システムおよび自動運転といった新技術に対する受容性などの地域特性を把握し、地域に適応した対応方策を施すことが必要であると考えられる。ところで埼玉県長瀬町は、高齢化率が約 35%と県内でも高齢化が進行している中山間の特性をもつ地域であり、現在公共交通の導入について検討が進められている。そこで本研究では、埼玉県長瀬町を事例として、住民の公共交通の利用意向および ICT リテラシー水準とスマート技術に関する受容性との関連性を調査し、導入や普及に必要な方策について基礎的検討を行った。</p>	